

第3・4学年国語科学習指導案

日時 平成22年10月5日(火) 6校時

場所 3・4年教室

児童 3年 男子 3名 計3名

4年 男子 3名 女子2名 計5名

指導者 矢内雅彦

1. 単元名 進んで話し合い、発表しよう

「分類」ということ(光村3年下)

2. 児童の実態

3年生の児童は、1学期「道案内をしよう」で、事柄を順序立てて分かりやすく話すことを学習している。また、朝の会の中にスピーチタイムを設け、質問や意見、感想を交流する場を設けている。スピーチ練習を続けてきた結果、題材を見つけて話すことができるようになってきた。しかし、事実のみで感想が入っていなかったり、多くの事柄を整理しないまま話したりすることも多い。中心をはっきりさせ順序立てて話す力は、まだ十分とはいえない。

3. 単元について

学習指導要領における第3学年及び第4学年の「話すこと・聞くこと」の目標は「相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気をつけて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身につけさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。」である。

本単元は、「分類」について知り、身の回りの分類されているものを調べ、友達にわかりやすく筋道立てて話すことをねらいとしている。

まず、猫の挿絵を見てどのように分類したか、友達と自分の考えの相違点を意識しながら話し合う。その中で、観点によって分類のされ方が違うことに気づかせる。次に、資料「分類」を読み、身の回りの分類されているものに目を向けさせていく。その中から自分の課題を決め、調査活動を行う。最後に、調べてわかった事柄を分かりやすく伝えられるように、内容や方法を考え発表する。発表会で互いの発表を交流し合う中で、分類についての見方・考え方を深めることができる単元である。

1. 単元名 調べて発表しよう

「伝え合う」ということ(光村4年下)

2. 児童の実態

4年生の児童は、1学期「伝言は間違えずに」で、電話での会話が相手に伝わるように内容を整理して正確に話したり、大事なことを落とさずメモしたりすることを学習している。また、朝の会の中でスピーチを行い、内容を分かりやすく整理して話したり、スピーチに対して質問や意見、感想などを述べたりする場を設けている。しかし、内容を整理して分かりやすく話す力や、互いの共通点・相違点を比べながら話のやりとりをする力は、まだ十分とはいえない。

3. 単元について

学習指導要領における第3学年及び第4学年の「話すこと・聞くこと」の目標は「相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気をつけて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身につけさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。」である。

本単元は、資料「手と心で読む」をきっかけに、点字などの様々な伝え合いの方法について調べ、筋道立てて分かりやすく発表することをねらいとしている。

まず、資料「手と心で読む」を読み、様々な伝え合いの方法について話し合い、課題意識を持たせる。次に、様々な伝え合いの方法の中から自分の課題を決め調査活動を行う。最後に、一番伝えたいことが相手にしっかり伝わるように話の構成を考え、発表原稿を用意する。また、話の内容がより明確に伝わるように補助資料を用意し、発表会を行う。発表会で互いの発表を交流し合うことによって、伝え合うということについての見方・考え方の幅を広げることができる単元である。

4. 指導にあたって

「見通す」段階では、まず、教科書の猫を自分なりの観点で分類させ、交流し合って、同じものでもさまざまな分類の観点があることに気づかせる。次に資料「分類」を読み、身の回りのものが様々な観点で分類されていることに目を向けさせる。身近なものの分類について、調べたいことを決めて発表する学習への意欲を持たせたい。

「深める」段階では、取材しやいように身近なところから調べたいテーマを選ばせ、調査方法を考えさせ調べ活動に入る。また調べて分かったことを文や絵で取材カードに整理させる。それをもとに事柄の順序を考え、自分の言葉に直して発表メモを作らせたい。

「確かめる」段階では、発表メモをもとに、事柄の順序を考えて話す練習をさせる。中心を伝えるために欠かしてはならない言葉は何かを考えさせ、大事な言葉がよく伝わるように発表メモに印をつけさせる。グループで互いの話の中心を聞き合い、アドバイスし合って、発表メモを見直し加除修正を行う。

「広げる」段階では、4年生と合同で発表会を開く。話す事柄の順序を意識させながら話したり聞いたりできるように、観点を明確にした聞き取りシートを用意する。4年生の発表を聞く際には、質問をしたり簡単な感想を話したりできるように支援していく。

4. 指導にあたって

「見通す」段階では、資料「手と心で読む」から伝え合いのいろいろな方法に関心を持たせ、調べて発表する学習の見通しを持たせる。

「深める」段階では、児童が自分で調べる課題を決められるように、写真・本などの資料を用意しておく。調べる内容や方法について計画を立てさせ、取材活動を行わせる。調べて分かったことの中から必要な事柄を選び、カードに整理させたい。さらにカードをもとに話の構成を考え、発表原稿を作らせたい。

「確かめる」段階では、よい発表の仕方について話し合い、発表原稿をもとに発表メモにおこす。話し手は、聞き手を見て、話す速さ、間、資料の提示の仕方などのポイントも発表メモに書き加えて練習する。グループで互いの発表の内容や話し方をメモしながら聞き合い、アドバイスし合って、自分の発表について見直すことができるようにしていきたい。

「広げる」段階では、3年生と合同で発表会を開く。話の中心が相手に伝わるように話したり、大事なことをメモしながら聞いたりし、伝え合うということについての見方・考え方を交流し合う。3年生の発表については、上学年の立場から、発表の仕方のよかったところや、分類について調べた内容について、感想を話せるようにしたい。

《 言語活動を支える5つの言語意識 》

- 相手意識 学級の友達に
- 目的意識 分類について調べたことを紹介するために
- 場面・状況意識 4年生と合同で「こんな分類みつけたよ」発表会を開く。
- 方法意識 取材カードをもとに発表メモをつくって筋道立てて発表する。お互いの発表を聞き合い、感想を述べ合う。
- 評価意識 発表メモをもとに、筋道立てて話しているか、相互評価・自己評価をする。

《 言語活動を支える5つの言語意識 》

- 相手意識 学級の友達に
- 目的意識 伝え合いについて調べたことを紹介するために
- 場面・状況意識 3年生と合同で「こんな伝え合い発見」発表会を開く。
- 方法意識 発表原稿を発表メモにおこし、構成や話し方に気をつけて聞く。お互いの発表を聞き合い、感想を交流する。
- 評価意識 構成や話し方に気をつけて、大事なことをメモしながら聞いていたか相互評価・自己評価をする。

5. 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ◎ 分類やその観点の違いに興味をもち、進んで身の回りの事柄について分類したり発表したりしようとする。

(2) 話す・聞く能力

- ◎ 自分が調べた分類やその意味について聞き手に分かるように筋道を立て話すことができる。(話・聞イ)
- 伝えたいことが相手に分かるように、相手を見て、言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意して話す事ができる。(話・聞ウ)
- 話の中心に気をつけて聞くことができる。(話・聞エ)
- 互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合うことができる。(話・聞オ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解し、適切な言葉を選んで話す事ができる。(伝国イ(ア))

5. 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ◎ 伝え合い、分かり合うための様々な方法に関心をもち、進んで伝え合うことについて調べたり発表したりしようとする。

(2) 話す・聞く能力

- 自分が調べた内容や自分の考えが聞き手に分かるように筋道を立てて話すことができる。(話・聞イ)
- 伝えたいことが相手に分かるように、相手を見て、言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意して話す事ができる。(話・聞ウ)
- ◎ 話の中心に気をつけて聞き、質問したり感想を述べたりすることができる。(話・聞エ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解し、適切な言葉を選んで話す事ができる。(伝国イ(ア))

6. 学習指導計画 (1 4時間 話す・聞く 1時間 読む) 3年

段階	学習内容	主な活動	評価規準 (話す・聞く)
見通す (3)	分類することの意味やいろいろな分類の仕方を知り、発表会まで学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の猫を、観点をはっきりさせて分類し、分類の仕方について話し合う。 ・資料「分類」を読み、身近なものにもいろいろ分類の考え方が使われていることを知る。 (2時間) ・発表会までの学習の見通しをもつ。 (1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「分類」することに興味をもち自分の分け方を、根拠をはっきりさせて話している。 (行動観察・発言) ・身の回りの分類について意欲的に探している。 (行動観察・発言)
深める (5)	調べたいテーマと調査方法を決め、発表会の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べたいことを決め内容、方法について計画を立てる。 (1時間) ・自分の課題について取材をしたことを、絵や文でカードに整理する。 (2時間) ・教科書やCDで発表内容の組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容や方法を意欲的に話し合っている。 (行動観察・発表) ・調べたことについて観点にそって取材カードにまとめている。 (取材カード) ・話す事柄、順序を考えて発表メ

		立て方を確認し、発表メモをつくる。 (2時間) ※書1：自分の考えをもつための書く活動	モをつくっている。 (発表メモ)
確かめる (4)	話の中心に気をつけて発表の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> 発表メモをもとに大事な言葉に印をつけて発表の練習をする。 (1時間) 取材カードをもとに聞き手に分かりやすく伝えるための補助資料をつくる。 (1時間) 互いに中心をとらえて聞き合い、アドバイスし合う。 (1時間) ※書2：互いの考えを深めるための書く活動 <ul style="list-style-type: none"> アドバイスをもとに発表メモの加除修正を行い練習する。 (1時間) ※書3：自分の考えを深めるための書く活動	<ul style="list-style-type: none"> 話の中心を伝えるために欠かしてはならない言葉に印をつけ、はっきり話そうとしている。 (発表メモ) 聞き手に分かりやすく伝えるために必要な補助資料をつくっている。 (補助資料) 話の中心に気をつけて聞き、アドバイスしている。 (行動観察・発言) 話の中心や話し方についてアドバイスされたことを生かして練習している。 (行動観察)
広げる (2) 本時 1/2	発表会を行い、学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> 発表を聞き合い、互いのよかった点や新しくわかったことなどを交流する。 ※書4：互いの考えを深めるための書く活動 <ul style="list-style-type: none"> 発表会を通して自分の感想をワークシートに書き、学習のまとめをする。 (2時間) ※書5：ふりかえりのための書く活動	<ul style="list-style-type: none"> 事柄の順序や中心に気をつけて発表している。 感想をもって聞いている。 (発言、学習シート) 分類の仕方や筋道立った話し方について学んだことをふりかえている。 (学習シート)

6. 学習指導計画（13時間 話す・聞く）4年

段階	学習内容	主な活動	評価規準（話す・聞く）
見通す (2)	資料「手と心で読む」から様々な伝え合いの方法があることを知り、発表会までの学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み、点字を使った伝え合いの方法について知り、感想を話している。 (1時間) 発表会までの学習の見通しを持つ。 (1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> 伝え合う方法について興味をもち、自分の感想を話している。 (行動観察・発言)

<p>深める (6)</p>	<p>調べるテーマと調査方法を決め、発表会の準備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べたいことを決め、内容・方法について計画を立てる。 (1時間) ・自分の課題について身の周りや資料から取材する。 (2時間) ・取材した中から選材し、構成メモをつくる。 (1時間) ・構成メモをもとに発表原稿をつくる。 (2時間) <p>※書1：自分の考えをもつための書く活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容や方法を意欲的に考えている。 (学習シート) ・調べて分かったことをメモしている。 (ノート) ・伝えたい材料をカードに整理し、組み立てを考えている。 (構成メモ) ・伝えたい中心をはっきりさせて、話のはじめと結びを工夫している。 (発表原稿)
<p>確かめる (4)</p>	<p>聞き手によく伝わる発表の仕方を考え、発表練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に分かりやすい伝え方を考え、発表原稿をもとに発表メモをつくり、必要な資料を用意する。 (2時間) ・互いに構成や発表の仕方について聞き合い、アドバイスし合う。 (1時間) <p>※書2：互いの考えを深めるための書く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスをもとに発表メモを見直し、練習をする。 (1時間) <p>※書3：自分の考えを深めるための書く活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に分かりやすいように大事なことばを選んで発表メモに整理している。 (発表メモ) ・聞き手に分かりやすく伝えるために必要な資料を準備している。 (補助資料) ・話の構成や発表の仕方に気をつけて聞き、アドバイスしている。 (行動観察・発言) ・構成や発表の仕方についてアドバイスされたことを発表メモに書き加えて練習している。 (行動観察・発言)
<p>広げる (2)</p> <p>本時 1/2</p>	<p>発表会を開き、学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容やよい発表の仕方について意見や感想を交流し合う。 <p>書4:互いの考えを深めるための書く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え合うことやよい発表について学んだことをふりかえる。 (2時間) <p>※書5:ふりかえりのための書く活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心やよい発表の仕方に気をつけて話したり聞いたりしている。 (発言) ・伝え合うということについて自分の考えをもち、友達と交流している。(発表メモ・聞き取りカード)

7. 本時の指導

(1) 目標

- 3年 ◎ 調べたことがよく伝わるように事柄の順序を考えながら話すことができる。
- 話の中心や事柄の順序に気をつけて聞くことができる。
- 4年 ○ 自分が伝えたい中心が分かるように筋道立てて話すことができる。
- ◎ 話の中心に気をつけて聞き質問したり感想を話したりすることができる。

(2) 展 開

3 年				4 年				
過程	教師の支援	話す・聞く能力を高める 主な活動	学習内容	主に支 援する 学年	学習内容	話す・聞く能力を高める 主な活動	教師の支援	過程
導入 5	・これまで準備してきたことを想起させ、学習への意欲を高める。	○前時までの学習をふりかえり、課題を把握する。 「こんな分類みつけたよ」 発表会をしよう。	1 前時の想起 2 課題の確認		1 前時の想起 2 課題の確認	○前時までの学習をふりかえり、課題を把握する。 「こんな伝え合い発見」 発表会をしよう。	・これまで準備してきたことを想起させ、学習への意欲を高める。	導入 5
展開 3 7	・前時までの紙板書をもとに確認をする。 ・ワークシートへの記入の仕方を確認する。 ・進行は4年生が行う。 ・互いの発表のよい点や、分類	○話す・聞く観点を確かめる 【話すとき】 ①事柄の順序を考えながら ②絵や資料を使って ③大事なことをはっきり 【聞くとき】 話の中心に気をつけて聞く。 ○発表会の流れを確認する。 ①3年生が発表し、次に4年生2名が発表する。 ②観点にそってチェックしながら聞き感想を交流する。 ○発表し聞き合う。 〈3年生の発表〉 ・発表メモをもとに絵や写真を活用し	3 話す・聞く時の観点を確認する。 4 発表		3 話す・聞く時の観点を確認する。 4 発表	○話す・聞く観点を確かめる。 【話すとき】 ①筋道を立てて ②資料を説明に生かしながら ③中心が伝わるように ・間、強弱 【聞くとき】 相手の伝えたいことを中心に考えながら聞き、感想をもつ。 ○発表会の流れを確認する。 ①3年生が発表し、次に4年生2名が発表する。 ②観点にそってチェックしながら聞き感想を交流する。 ○発表し聞き合う。 〈3年生の発表〉	・前時までの紙板書をもとに確認をする。 ・ワークシートへの記入の仕方を確認する。 ・進行は4年生が行う。 ・内容や発表の仕方のよい点を話	展開 3 7

<p>の仕方のちが いについて話 させる。</p>	<p>ながら発表する。</p>			<p>すようにさせる。</p>
<p>書4:互いの考えを深めるための書く活動(学習シート) ・中心に気をつけて聞くために観点ごとにチェックする。</p>				
<p>具体的評価規準 <話す> 十分満足:調べたことと補助資料を対応させながら、相手に伝わるように事柄を整理しながら適切なことばで話している おおむね満足:自分の調べたことが相手に伝わるように補助資料を使って事柄を整理して話している。 支援が必要な子への手立て:調べたことをうまく話す事ができない子には、発表メモを再確認させ、1番伝えたい事柄や語尾をはっきり話すように助言する。 <聞く> 十分満足:話の中心を捉えて聞き、自分の考えと比べながら感想を発表している。 おおむね満足:話の中心に気をつけて聞き、感想を発表している。 支援が必要な子への手立て:感想を話す事ができない子には、発表を聞いて新たに分かったことを対話しながら引き出し、話せるように支援する。</p>			<p><4年生の発表> ・発表メモをもとに写真や資料を活用しながら発表する。 ・感想を出し合う。</p>	<p>・聞き取ったメモをもとに、感想を出させる。</p>
<p>・簡単な質問や感想を話すようにさせる。</p> <p><4年生の発表></p>			<p>書4:互いの考えを深めるための書く活動(学習シート) ・中心に気をつけて聞くためにメモする。</p>	
<p>具体的評価規準 <話す> 十分満足:調べたことと補助資料と対応させながら相手に伝わるように筋道を立てて話すことができる。 おおむね満足:伝えたい中心が相手に伝わるように筋道を立てて話している。 支援が必要な子への手立て:うまく話す事ができない子には、発表メモを再確認させ、話の中心や間に気をつけて話すように助言する。 <聞く> 十分満足:中心を捉えて聞き、自分の考えと比べながら感想を話すことができる。 おおむね満足:話の中心に気をつけてメモを取りながら聞き、感想を発表している。 支援が必要な子への手立て:感想を話す事ができない子には、聞く観点にそってよい点やアドバイスを話すよう助言する。</p>				

終 末 3	○次時は、4年生3名の発表を聞き、学習のふりかえりと「分類」についてわかったことをまとめることを予告する。	6次時の予告		6次時の予告	○次時は、4年生3名の発表を聞き、学習のふりかえりと「伝え合う」ことの大切さについてまとめることを予告する。	終 末 3
-------------	---	--------	--	--------	--	-------------

(3) 板書計画

3年生

	<p>話し方・聞き方のポイント</p> <p>既習で確認したこと確認する(掲示)</p>	<p>話し手・・・事柄を順序立てて分かりやすく話す。</p> <p>聞き手・・・ことさらにそってチェックしながら、話の中心に気をつけて聞く。</p>	<p>「こんな分類みつけたよ」発表会をしよう</p>	<p>「分類」ということ</p>
<p>友だちの発表を聞いてよかったことや感想を話す。</p>				

4年生

	<p>話し方・聞き方のポイント</p> <p>既習で確認したこと確認する(掲示)</p>	<p>話し手・・・伝えたい中心を分かりやすく話す。</p> <p>聞き手・・・話の中心に気をつけながら聞き、気がついたことをメモする</p>	<p>「こんな伝え合い発見」発表会をしよう。</p>	<p>「伝え合う」ということ</p>
<p>互いの考えの共通点や相違点を交流し合う。</p>				

(4) 座席表

① 関心・意欲・態度

興味、関心をもって意欲的に学習に取り組んでいる。(3・4年)

② 話すこと

調べたことについて筋道をたてて話すことができる。(3年)

調べてわかった事柄など順序立てて話し、伝えたいことを分かりやすく話すことができる。(4年)

③ 聞くこと

話の中心に気をつけて聞くことができる。(3・4年)

4年生
①○ ②○
③○

4年生
①○ ②○
③○

3年生
①○ ②◎
③◎

3年生
①◎ ②○
③○

4年生
①○ ②○
③○

4年生
①◎ ②◎
③◎

3年生
①○ ②○
③○

4年生
①○ ②◎
③◎